

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修・選択
担当教員			
陣内 吉田 中尾 花城 友廣 戸田 澤田(座間味) 小浦 藤野			

講義概要	<p>①自ら課題にするゼミナールを選択する。地域活動や講演会等に参加し問題意識を持つ。文献などから現代の幼児教育に関する課題を理解する。</p> <p>②子育て支援機関の現状を知る。子育て支援機関の役割について考察する。保育・教育関連機関の連携の現状について理解を深める。</p> <p>③ゼミ活動における議論を通し自らの興味関心を探る。自己の保育観・保育者観を見つめる。ゼミで取り組むテーマを見つける。</p> <p>④地域の保育・教育機関を訪問し調査する。実地研修に参加する。調査の方法を習得する。</p> <p>⑤調査した結果や研修で学んだことをまとめる。調査結果や研修にて修得したことをもとに議論し、理解を深める。新たな課題を見つけ解決策を模索する。</p>
------	---

授業計画	<p>分野1 陣内 敦 造形を通した子育て支援 造形ワークショップ実践による子どもと子育て事情の理解について ・造形活動における子どもの情操と創造性の発達についての理解 ・子どもいっしょに作って遊べる造形教材の開発</p> <p>分野2 吉田美恵子 センス・オブ・ワンダー ・センス・オブ・ワンダーについて ・子どもの生活や遊びの実態を調査・記録する ・自然環境の中で、創意・工夫した遊びの展開を体験する</p> <p>分野3 中尾健一郎 子どもの運動遊びについて考える ・健康と運動の関係について体験を通して理解する ・現代の子どもの運動能力について理解する ・様々な運動遊びを企画する</p> <p>分野4 花城暢一 地域の子育て環境について考える ～地域交流・フィールドワークを通して～ ・地域の子育て環境や様々な取組みについて考える ・地域の自然や公園等を調査し、子育てと自然環境の関わりについて考察する ・地域の自然環境を活かした遊びの教材開発を通して保育者に必要な資質を身に付ける</p> <p>分野5 友廣憲子 保育における音楽教育を考える ・保育における音楽活動について研究する ・さまざまな音楽活動を実践する</p> <p>分野6 戸田恵理子 子どもとあそびについて ・子どもが「あそぶ」ことについて ・子どもの年齢・発達などに応じた保育教材を考え制作する ・「子ども」や「保育」に関するワークショップ等に参加し、様々な保育資源を知る</p> <p>分野7 澤田須賀子 子どもの育つ保育環境 ・遊びの環境づくりについて ・保育現場に向き、子ども達の実態を知る</p> <p>分野8 小浦 康平 長崎短期大学ヴァーチャル幼稚園（仮） ・幼稚園の年間行事の疑似体験を題材に、パソコンスキルの強化をはかる。 ・年間スケジュールに沿って幼稚園の主要行事を計画・疑似体験・考察し、行事の前後に必要な書類の作成スキルを身につける。 ・成果物として、職場ですぐに役立つような保護者への手紙やポスター、園だよりなどをパソコンで作成しファイリングする。</p> <p>分野9 藤野正和 こどもの心の発達と障害について ・こどもの心の発達に関わる要素について理解する ・こどもの心の発達と障害についての関係について理解する</p> <p>分野10</p> <p>分野11</p>
------	--

授業形態	演習
------	----

評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①保育に関する現代の社会的課題について問題意識を持つ</p> <p>②保育の現場で実際に起こっている課題を捉えそれについて考える</p> <p>③情報収集力を高めるため、タブレット等を活用し、自らの追求すべき研究課題を見つける</p> <p>④地域の保育実践現場を見学し、課題の現状分析を行う</p> <p>⑤保育の現場で得た学習内容とこれまでの学習内容を有機的に関連付ける</p>
--------------------	--

	演習への取り組み姿勢や課題に対する取り組みの積極性・協調性を総合的に評価する 演習への取り組み姿勢（40%）、積極性・協調性（60%）
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	各ゼミ担当教員が授業の前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	